

の選び方就職の方法就職後の向上
 發展等に関し適切な指導を有効
 なる輔導をなする事を忘れては
 ならぬのである。
 熱々我園職業界の情勢を察するに

識の啓蒙及職業の理解。三、兒童
 の調査。四、適職選擇指導。五、
 就職指導。六、進學指導。七、就
 職度の輔導。八、其他
 以上は講習の概を述べたに過
 ぎらぬ。

内郷村報の 六大使命

- 一、政黨政黨を超越して、村力充實主義を標榜す。
- 二、村内公私各機關の活動状況を報導し併せて其協調を計り、總規和總努力の實現を期す。
- 三、本村社會事業の徹底を期す。
- 四、村内の善事善行を表彰し、且之を獎勵す。
- 五、本村に本村出身者及本村關係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
- 六、餘力を以て、國民善導に當る。

内郷村幸

天法人則
 從順ナ
 ルベシ

晴天に雨傘の用意

大内民惠

記者の經營して居る七年
 人の若者が居つて、營々として働いて居る。其内の一人、當年三十歳の太竹吉次郎なる若者は、大沼郡出身で、始めて入會したのが昭和三年で、身體強健、資性亦頗る純樸ではあるが、うも落ちついて辛抱する事が出来ず、一通り身の廻りの仕度も出来たり、二三十圓もの貯金が出来ると、瓢然と出て行つてしまひ、而して他の炭礦を一巡し、又もその裸一貫になつて戻つて來るといふ有様で、それを繰り返す事數回に及んだので、此春舞ひ戻つた時には、會社の方からは採用使役まかりならぬと断はられ會の方でも入れる事出来ぬとつづばなせば、同君頗る困惑すると同時に、過去數年間の我身を顧みて

翻然として悟つたもの、人前になる迄は、何時迄も辛抱するから、何とかしてもう一度使つて見ていたゞきたいと、熱心に申出つたので、可愛そうにもなり、今度こそは或は物になるかとも思はれたので、極力會社の方にもお願ひして使役していただき、よく將來を言ひ聞かせて、會にも置く事にしたのであるが、其後一段と仕事にも精勵するのでヤレよかつたと安心もし喜びもしたのである。而して其太竹君が、天気晴朗であつた去る七月八日、入坑賞金參圓(半月皆勤者に一等賞參圓給與)を握つて來て、其内から現金で雨傘を買ひたいと申出たので、少しく意外の感に打たれ、「君、今日は天気ぢやないか、雨傘をどうするのだ」と尋ねた

「雨が降る時に困るから用意して置くのです」との答、之には記者も少なからず感動させられて、「オ、そうか、君もさういふ事を激勵したのであつた。其後新しい雨傘に、年號月日氏名及び「晴天に雨傘の用意」の一句を書いてやり、之を嘆稱する。

謹啓 只今御送り下され候内郷村報上下左右精讀仕候職員一同にも提示仕候 僅か半日の御參觀なりしも達職の士の御來校は貴重なる半日と相成申候 御慧眼校の内外に透徹して明暗悉く御心鏡に映じ御識見の程敬服の至りに御座候 之を千百三十二の父兄に洩れなく御頌も頂くと等は即ち千百三十二の父兄の方々の御參觀を頂きしと等しく學校としては誠に難有厚く御禮申上候 職員一同益々相協力致し父兄の方々の御期待に添うやう精進致度不文謝意を不盡候へども右取敢へず御禮迄如斯御座候 草々敬具

昭和九年七月二日 小檜山久作

不順の候特に御機嫌を御伺申上候
 大内 民惠
 大内 きみ
 大内 一郎
 大内 二郎
 大内 弘喜
 濱崎 多喜
 濱崎 喜一郎
 濱崎 多門
 濱崎 多門
 卷幡 みつ
 卷幡 善信
 馬場 善信
 甲斐根 丑太郎

晴朗 日、入坑賞金參圓(半月皆勤者に一等賞參圓給與)を握つて來て、其内から現金で雨傘を買ひたいと申出たので、少しく意外の感に打たれ、「君、今日は天気ぢやないか、雨傘をどうするのだ」と尋ねた

考へる様になつたか、感心な事だ。君！その精神を一生忘れぬや、そうすれば必ず成功疑なしだ」と過去を例にひいて一席を辯じ其

東郷のくじきみ影を神床に長くかけて仰きまへらむ
 昭和九年七月十二日 杉田 高橋 直記

既報の通り、本年上半年期に於て、弊炭の役員諸氏并に從業員諸君は、近來稀に見る多額の賞與、金や酒肴料をもらはれたので、記者はそれ等の金が、どういふ風に處置されたかと、内々各方向

本報定價 一冊五錢 一年一元二角 半年六角
 發行所 大内民惠
 印刷所 平活版所

(第一面よりつゞく) 面にわたつて調査して見たのである。もとより人の財布の中は精確にわかり様はない事であるが、其まゝそつくり貯金にまはしたといふ様な人は何ばかりもなく其を當て込んでつかつて居つた人が大部分を占め、其一割乃至二割を貯金したといふのが上成績の様に見うけられた。要するに晴天に雨傘の用意をされた人は、

涙ぐまじき

少年の報恩感謝

世間では炭礦といふと、ナラズモノの集つて居る處でもあるかの様に思つて居る人々も少くない様であるが今日の従業員中には、却つて東京あたりの所謂上流社會の人々などよりは、遙かに美しき精神の持主が多い様に思はれる。こゝに特筆大書する報道の如きも其一例である。高坂坑の運搬夫で宮澤社宅二十九號(記者の近所)に居住する與市氏長男村上巖君(一七)は、昨年磐炭勞務課石橋書記の盡力によつて、高坂坑外雜夫となつたのであるが、この上半期にもらつた酒肴料のうちか

到つて少なかつた様に思はれたのである。申す迄もなく、國家にとつても、一家にとつても、非常時、不況時は常に繰返されるものである。平時に將た好況時に於て、精勵努力其對策を講ずる事が、賢明な方法ではあるまいか晴天に雨傘の用意なるか者諸君の一考を煩はす次第である。

方面委員會

其取扱事項

七月三十日午後一時より村役場に例會を開催、助成會顧問賛助員及支部委員推薦の件其他重要事項を審議決定した。次に七月の中取扱事項は左の通りである。昭和九年七月分生活扶助、法令による者二四。保健救療、法令による者二。児童保護、法令による者四八。相談指導二〇。戸籍整理三。職業其他の紹介三一。教化一。其他三。計一四五。第一種世帯數三〇、人口一〇七。第二種世帯數一〇七。人口五二〇。第一種より第二種へ變更世帯數一、人口五。生活安定世帯數二、人口五。其他一世帯數一人口

助成會役員推薦 内郷村方面事業助成會役員の一部である理事には現方面委員、齋藤收入役吉田方面書記の諸氏、評議員には現村議諸氏、支部長には現區長、副支部長には代理區長の諸氏、副會長には金澤助役大内常務委員の兩氏を沼田會長よりそれぞれ推薦を發して決定し、顧問、賛助員及支部委員は、近日中聯合役員會開催、協議の上推薦する事に決定した。

宮本鐵太郎氏

日露戰役の勇士にして、現に村會議員、學務委員、方面委員等の要職を帯び、村治の功勞者である同氏は、胃癌の爲め七月二十九日五十二歳を一期として逝去、同三十一日眞光院に於て盛大なる葬儀が行はれ、日本赤十字社總裁、福島縣知事沼田村長、生田村議代表、大内方面委員代表其他各種團體代表及諸有志の弔辭があつた。

磐炭健康保險組合では、女子被保險者の爲に、從來一名十の産婆を指定してあつたが、今回巻幡鬼澤大越の三氏を増員したるを以て八月一日附を以て、左記の通り方面別を通牒した。町田方面、安齋アサ(内郷病院)小野寺チヨノ(町田)加藤ケサヨ(平太郎)志賀トク(竹ノ内)宮澤御殿方面、齋藤イノ(高坂病院)大野ハル(金坂)巻幡ミツ(宮澤)大友タケ(御殿山)綴白水方面、足立ツナ(濱井場)鬼澤コノ(濱井場)川島トミ(綴)石川ノブ(白水)大越ツヤ(白水)

磐炭健康保險

七月五日の村會には、寄附採納の件、村基本金運用の件、昭和九年度内郷村歳入出追加豫算の件の三件を、同十日の村會には、村基本金運用取消の件、小學校敷地買収並に校舍増築費起債取消の件、基本金及積立金運用の件、小學校敷地借用の件、昭和九年度内郷村歳入追加更正豫算議決の件の五件を審議決定した。

日本評論社 發行所 東京三橋三丁目 東本町三丁目 内郷村報社 取次所 車で送迎された。 消防手増員 内郷組第二部にては消防手

親和會世話役任命 磐城炭礦では既報の通りの 磐城炭礦では既報の通りの 磐城炭礦では既報の通りの

磐炭の表彰式 磐炭に於ては七月十五日午 前九時より淺野翁記念館に 於て、名入手塚土宅世話

我國教育學界の權威 前京大總長小西重直博士 寄せて曰く、多年ノ御禮下り 御試練ニ基ク眞學國ノ大精神ヲ拜 味仕り不思議感激ニ打テ申候云々。

日本評論社 發行所 東京三橋三丁目 東本町三丁目 内郷村報社 取次所 車で送迎された。 消防手増員 内郷組第二部にては消防手

勞務課石橋書記の盡力によつて、高坂坑外雑夫となつたのであるが、この上半期にもらつた酒肴料のうちか

矢野 恒太序 大内 民惠著
 服部 宇之吉
教育制度改革概論
 (四六版二一頁 定價五十錢 郵税六錢)

親和會世話役任命

磐城炭礦では既報の通りの方針の下に、七月一日附を以て昭和九年度親和會世話役の任命を行つた。其氏名は左の通りである。但し順序は區順により、氏名の上の「長」は支部長「副」は副支部長「書」は書記の略である。

- 上層 忠治 長蛭田清三郎
- 小川 三郎 高橋 冬治
- 三原 勘三 關 壽之
- 安藤 勝美 長中手由太郎
- 大谷 一 西田 宥海
- 佐藤 萬太郎 及川清石工門
- 平太郎 音次
- 北島 彌吉
- 佐藤 彌吉
- 竹ノ内 鵬禪 副藁谷 信英
- 金子 鵬禪 副藁谷 信英
- 町田 巨香 佐藤 寅巳
- 大内 遠藤勘之丞 峯岸金五郎
- 白石 一作 長寒河井彌作
- 鈴木 政夫
- 加藤 朝清 副阿部 竹松
- 宮澤 延季 長伊勢谷重藏
- 瀧内 三義 書佐藤 政重
- 瀧口 勝由 佐藤 靜雄
- 末永 喜七 水野谷 德壽
- 大沼 謙治 木場 善吉
- 島山 謙治 橋本喜久雄
- 齋藤 初吉

磐炭の表彰式

磐炭に於ては七月十五日午前九時より淺野翁記念館に於て、昭和八年度社宅世話役及親和會幹部の解任表彰式を挙行した。菅原所長上京中につき、濱崎部長代つて懇篤なる告示及挨拶をなし感謝状に記念品を添へて授與し會田病院院長來賓を代表して祝辭を、大谷氏は社宅世話役を大森氏は親和會幹部を代表して答辭を述べ、玄關に於て記念撮影をなし、萬歳を三唱して解散した

- 御殿 鶴次 長熊谷 勸次
- 武田 榮助 齊藤 喜助
- 伊藤 廣吉 坂山 新作
- 佐藤 忠三郎 大宮 英治
- 藤沼新一郎 長谷川 公平
- 國分 哲次 副杉本 直義
- 八卷 兼治 鈴木市太郎
- 佐藤 兼治 鈴木市太郎
- 關根 茂 書牧野熊太郎
- 伊藤 萬一 渡邊 恒重
- 村上喜一郎 倉田 一幸
- 宮垣 安徳 安田利氣三
- 高橋 信夫 門馬市太郎
- 綴 岡田 虎雄 木田 美文
- 眞壁運三郎 安藤 發吉
- 渡邊幾太郎 野崎 榮七
- 平子 竹治 國分徳太郎
- 大瀧 儀一 長坂本 庄吉
- 山田 光三 和田 義次
- 齋藤 市吉 山崎 四郎
- 高橋 要
- 小林長太郎 副水竹 徳平

世話役の清遊

私共社宅世話役の任期満了に當りまして盛大なる解任式を舉行せられ感謝状並に過分の記念品を贈りまして衷心より篤く御禮を申上ます。回顧すれば在任中微力にして會社の爲將又全従業員の爲に御期待に添ふ様な働きが出来なかつた事を今更ながら耻ぢて居る次第であります。唯幸に勞務係員の方々の始め前任の方々の御指導御援助によりまして大過なく今日に至りました事を感謝して居ります。私共は解任されましたが在任中變る事なく會社の爲全従業員の爲微力を致し後任者各位と聯絡協同して全山の總親和會努力の爲に力を致して御恩の萬分の一に酬ゆる考であります。茲に謹で社宅世話役一同に代り御禮を申し上げます。昭和九年七月十五日 社宅世話役總代 大谷 義明

行き詰れる現代の教育制度を解體して、學理を實際と、歴史を實踐とから新に大内案九主義を提唱す。天下知名の士の賛同枚舉に違あらず。されど未だ一人の抗議者も現れず。

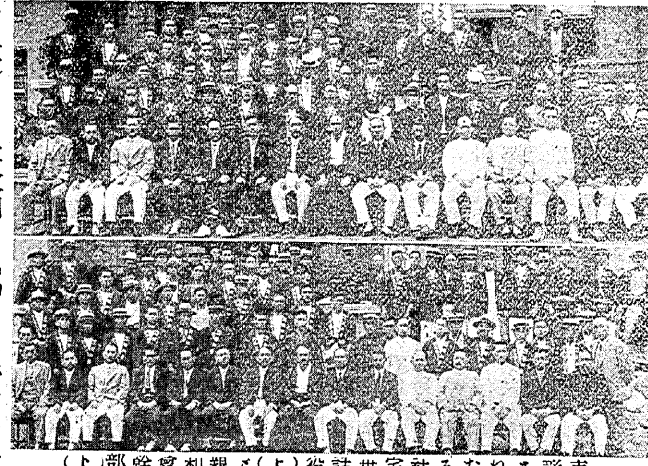
我國教育學界の權威
 前京大總長小西重直博士
 書を寄せて曰く、多年ノ御體験下實地ノ御試練ニ基キ眞學愛國ノ大精神ヲ拜味仕リ不思感激ニ可ク申候云々。

發行所 日本評論社
 東京京橋三丁目
 取次所 内郷村報社

一、二、三種世帯數一〇七
 人口五二〇。第一種より第二種へ變更世帯數一、人口五。生活安定世帯數二、人口

七月五日の村會には、寄附採納の件、村基本金運用の

度親和會世話役の披露を兼ねて豊間清遊を行ふた。甲班は沼之内辨天に參詣燈臺を見學し、乙班は乗船して



(上)世話役世話社宅の表彰式 (下)部幹會和親と

車で送迎された。内郷組第二部にては消防手五十名を増員し八月五日昭和館に於て辭令交付式を舉行し、同時に從來の四私設消防を廢止した。而して其幹部たる小頭は左の如し。金坂、佐藤繁。代、松本大。瀧、山崎新平。平太郎小島昇。

奏待祝賀會 奏任待遇堀校長の祝賀會は七月二十一日内郷館に舉行し出席者六十七名の盛會であつたお斷り 道會其他の記事は記事編湊に付次號に。

水泳部報(其一) 機電 谷川 信一 我が水泳部も創立以來三年を経て居ますが、其の間、各位の熱誠なる御後援に依り今日の隆盛を見るに至りました。七月一日には強豪磐城中学校との對抗戦に於て、主將富岡、新進佐藤、庄司の活躍を始め、吉田、高木、村上諸選手の奮闘に依り、十二種目の中九種目の選手権を獲得し四六對三七のスコアを以て、壓倒的勝利を得ました。七月十五日には有名な出口、小木曾、高島の三師範を我が水泳部の爲、東京より御來山、各種水泳法並に當地方最初の水球競技を御指導下さいました。尚七月二十九日には仙臺に行はる、明治神宮の東北遠征に参加する豫定であります。終

大敷網を見物して午前十一時豊盛座に集合、濱崎部長より告示挨拶あり、次いで豊嶺館樓上に開宴、各自大に歡を盡して午後二時歸途についた。豊間村長同役場吏員燈臺長大敷網主其他諸有志の行き屈きたる幹旋は一同の感謝する處であつた當日の列席者は世話役八十四名、主任以上十七名、勞務課員三十七名、總員百三十八名で、往復は貸切自動

職業指導講習會の記

方面委員 田口淳三

本講習會は六月十三日より三日間郡山市に於て福島支部主催で開催されたのであります。由來職業指導の對象は青少年であり、講師の主眼は勿論學校教員に對して希望し注意し適正なる指導法を講せしめんとするもので保護者たり社會事業家たり企業家たるものは元より其從たるを免れず爲に受講の收穫は余り多くはなかつたが講師は何れも斯界の權威者である。社會局長官丹羽七郎、青森地方職業紹介事務局長千田專平、立教大學教授岡部彌太郎、文部省社會教育官水野常吉の諸先生であつた今之等を概括的に要領を摘録して關係者の參考に供せんとする。現代の社會に於ては職業に就くこと云ふことは社會機能の一部を分擔するといふ事であつて國民たるものは必ずや何等かの正しき職業に就くことに依つて初めて社會人としての資格を備へ又公民として完成するものである。生計の基礎は實に職業に在るのであるから各人それ／＼自己の知能、能力、体力に依つて活動し國家社會の爲に盡すべきは蓋し人間本來の使命であるのみならず之等は國家社會も亦切に要求する處である。之に於て世の先覺者たり教育者たり保護者たるものは職業指導者として重要な地位に在るが故に常に青少年の個性並に境遇をよく調査しそれに職業の實際を照合して其職業の選び方就職の方法就職後の向上發展等に關し適切な指導を有効なる輔導と爲る事を忘れてはならぬのである。熱々我國職業界の情勢を察するに

求職者少年の數年々増加を示して居るのに反して容易に就職し得ざるの矛盾の現象は隨所に發見するのである。斯る事は國家産業經濟上より見るも教育教化上より考ふるも洵に憂ふべき重大事であるから之が解決の爲めには指導の立場にある人々は先づ眼目を開いて指導の大方針を確立し之れに従つて善導する事の必要は當然の當然事である。斯くてこそ國民の職業不安を緩和し各其職業に勉勵し刻下非常時局の打開ともなる重要對策であると思ふ。而して職業指導實施に關し尋常小學校に於ては特別の科程を設けざるも各教科の教授及適當の機會に於て指導誘致に留意すべきである。但し事情止むを得ざるものは格別して幼年就職の弊を除去することに努むべきである。高等小學校に於ける教育は其卒業生の大多數は直ちに社會に出て實務に就く点より見るも亦心身發達の程度より考ふるも特に職業指導の施設の充實を必要とするから高等小學校に於ては職業指導科を特設し組織的に職業に對する正しき觀念を與へ各種の職業に關する知識を啓蒙する共に將來の選職就職及就職後の輔導を合理的ならしめなければならぬのである。高等小學校に於ける職業指導要項 一、職業精神の涵養。二、職業知識の啓蒙及職業の理解。三、兒童の調査。四、適職選擇指導。五、就職指導。六、進學指導。七、就職度の輔導。八、其他 以上は講習會の概略を述べたに過

内郷村報の

六大使命

- 一、政黨政派を超越して、村力充實主義を標榜す。
二、村内公私各機關の活動状況を報導し併せて其協力を計り、總規和進努力の實現を期す。
三、本村社會事業の徹底を期す。
四、村内の善事美行を表彰し、且之を獎勵す。
五、本村及本村出身者及本村關係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
六、會餘力を以て、國民善導に當る。

ぎのである。而して終りに附記せんとするものは職業紹介に關する施設であるが營利を目的とする紹介業は其筋に於ても成るべく不詳可の方針をこり年々減少しつつあるに反し公設の職業紹介所は近年

北海道農業の心臓見學記

北海道拓殖實習場 大内一郎

愈々本日二年生十名、熊先生指揮の下に、北海道農業の心臓を探るべく出發いたしました。丁度一年生半數の人々の十勝北見釧路の修學旅行出發も此日なので、午前六時共に實習場を發して、一直線に帯廣農事試驗場に着き、四部隊に分れて仔細に見學する事を得ました。去年此處を訪れた時よりは多少本道作物を見る眼も肥えて来たものか、非常に有益に面白く見せて戴く事が出来ました。地方の維持上大に終肥栽培を獎勵されて居る様に思はれました。それより一年生の諸君と別れ、帶廣まで同行された安孫子先生と共に、十勝農學校を見學、大に歓迎されました。今夜十時五十分にて札幌に向ふべく當旅館で夕食を戴き英氣を養つて居ります。 七月十八日午後六時 帶廣市 三浦屋旅館にて

(一) 一面の公園は誠に氣持よく心地よげに木蔭の下に憩ひる人々なども見受けました。參拜後植物園に到れば、既に松野場長さんが來て居られ、共に博物館温室等を參觀。馬三頭を食つた、イヤ人間三人を食へたとか云ふ熊の馴製やアイヌ風俗の品々、果ては實れるバナナ、咲き誇れる蘭などまで見物、ローンに少憩して退園。十時道廳訪問、羽生殖民部長、川上殖民課長にお目にかかり、部長より親しく懇篤なる訓辭をいただき、確固たる信念を以て、大いに北海道開拓に努力してくれといふ御趣旨でした。晝食は場長さんの御馳走でそれには道廳の高野技手からは御菓子の御寄贈あり、芝園で記念撮影をなし、午後一時退園札幌大學農學部訪問、星野教授の案内で、温室、第一農場、果樹園を見學、續いて渡邊教授によつて大學部見學川口教授には養蠶の話がながひ

二農場に至つて、年收純利益金壹萬圓を上げたお話を承りました。面積五町、牛百拾頭、馬六頭、豚二十頭、雞三十羽の事、如何に旨く利用しつゝあるかが分りました。それよりバスにて帯廣に到着し、午後八時農事試驗場附屬農業練習所に向つて、晚餐をいたし御厄介なる事に成りました。 七月十九日夜 琴似 農業練習所にて



(寒月) 牧放の羊種 場羊種省林農

激増して今や全國に於ては五百二十五ヶ所を算し(本縣にては三市及平町場本町の五ヶ所)何れも良好の成績を擧げつゝあつて將來は益々此種の發達を要求するのである。

(三) 喚々たる喇叭の音に、一同疲れを忘れて飛び起さる。之は當練習生の起床合圖で、食事、夜の点呼共に喇叭による様でして、六時半小生等文、生徒達より先きに朝食をいたし、六時四十分三階の禮拝堂に入り、音楽のレコードで心を鎮め、後藤靜香氏の「權威」朗讀あり、終つて七時十五分係の先生

午前七時十八分汽車は無事に、北海道のセンター アカシヤの都、札幌へ到着いたしました。夜汽車でも案外こんで、もの、二時間許りさる／＼した位でした。早速朝食をとり、取り敢へず札幌神社に敬意を表すべく阿山公園に向つて出發、道廳より島内技手がお見えになつて、案内をして下さつたので萬事都合でした。芝生(ロ

本紙發行は大内一家の事業にして、其の社章は子孫に對する遺言を兼ねるものなり。

本紙發行は一月毎 本紙定價 一圓五分 郵費別 郵政特許 第三三三三號 印刷所 大内民惠 電話 二二〇 平 活 版 所

内郷村報 天法人則 從順ナ

「雨が降る時に困るから用意して置くのです」との答、之には記者も少なからず感動させられて、「オ、

新しい雨傘に、年號月日氏名及び「晴天」の一句を書

否やは疑問ではあるが、兎にも角にも 一念發起して、殊勝な心掛をするに到つた事